

# 令和3年度学校自己評価システムシート（県立所沢中央高等学校）

目指す学校像	節度ある生活、考える授業、達成感の持てる部活動を通じて希望の進路をかなえる学校
--------	---

重点目標	1 規律ある生活態度と自主的に行動する姿勢を養う。 2 自ら学び考える環境を整え、希望の進路の実現を図る。 3 保護者・地域との連携のもと、積極的な活動を促す。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		実 施 日 令 和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	○コミュニケーション能力の向上と生活規律を身に付けることを積極的に促す。交通ルール、マナーへの理解、日々の挨拶、遅刻件数の減少等は継続した努力が求められる。  ○感染症対策により、行事の内容の変更、規模の縮小をせざるを得ない状況ではあるが、生徒会本部を中心に運営、情報発信が活発に行われている。引き続き対策をしつつ、学校全体の活性化を継続して図っていききたい。	○基本的な生活習慣を身につけさせ、規範意識を向上させる。	①生徒指導部を中心とし、全教職員で統一した指導の取り組みを進める。 ②全教職員で情報を迅速に共有し、必要に応じて外部機関との連携を図る。	①社会状況に応じた指導内容を適宜見直し、全教職員で共有できたか。 ②地域の方等の意見に真摯且つ適切な対応をし、良好な関係を築けたか。				
		○感染症防止対策に即した行事の企画、運営を行う。新たにライブ配信や映像等を活用し、生徒の希望を汲みつつ行事への参加意識、積極性を引き出す内容とする。	①生徒会本部と各委員会が円滑に連携し、行事に関する情報を発信する。 ②活動を映像等で記録し、全教職員の意見も参考に課題や改善点を見出す。その総括を生徒会中心に以後活用する。	①検討を重ね企画運営した行事に対し生徒一人一人が参加意識、達成感を持つことが出来たか。 ②現状に対応しつつ、過去の課題や問題点を改善しより良い運営を行うことができたか。				
2	○自主的な家庭学習時間が不足している。 ○自己の進路に対する早期の意識付けは定着しつつある一方、進路実現に向けた積極的・主体的取組みが不十分である。  ○美化委員会を中心とする活動は主体的かつ計画的に運営されている。今後も校内の美化・緑化を中心に生徒各自が自主的に生活環境を整備する意識を向上させたい。  ○授業で図書館活用の機会が増えている。これに応える資料と、生徒の読書意欲の向上や、教科学習・進路に役立つ蔵書づくりを両立させたい。	○授業や課題等を通じて、自ら課題解決に向かう力を身につけさせ、内容理解・学習意欲の向上を図る。	①教科指導法や課題内容の工夫を図る。 ②学習への支援を行う。また、進路指導ボランティアも積極的に活用していく。 ③実力テストや各分野の説明会を通し学習活動の充実と現状認識の向上を図る。 ④保護者へ進路の状況を進路日よりや各種冊子を活用することで情報を共有する。	①週末課題への取り組みと家庭学習時間は向上したか。 ②生徒のニーズを把握し適切な支援ができたか。また進路指導ボランティアは有効に活用できたか。 ③説明会が適切に実施されたか。実力テストの結果を進路実現に反映できたか。 ④保護者への情報発信の機会と内容は適切だったか。				
		○主体的に緑化及び美化に関わる意識を向上させる。	①春秋の除草作業を含め植栽活動を美化委員を中心に計画的に実施する。 ②美化委員を中心にゴミの分別、食べ・飲み歩き禁止をポスター掲示等で呼びかける。	①効率よい植栽活動の為に適切な準備ができ積極的に参加したか。 ②感染防止に即しゴミの分別処理等の美化活動が、適切に運営できたか。				
		○館内資料を充実させ、読書意欲向上や学習に役立つ環境を整える。	③適切な選書と除籍を行いつつ、アンケート等で選書に利用者の声を反映させる。	③利用者・授業者の希望に応える資料が用意できたか。				
3	○学校説明会やホームページを通して、本校の特徴や行事の魅力を伝えたい。  ○地元に着した高校として保護者や地域から高く評価されている。PTAや地域の要望に応えながら協力関係を強めていきたい。	○本校の教育活動などについての発信を継続する。	①教職員全体で情報発信する。 ②ホームページを活用した情報発信を継続する。	①入学希望者数を高い水準で維持できたか。 ②年間を通じて、ホームページに新情報をアップできたか。  ③保護者への連絡が状況に応じて適切になされたか。				
		○社会情勢を考慮しながら、保護者への連絡を工夫する。	③学校行事等の連絡が保護者に届くよう改善を図る。					